

公益社団法人 在宅医療助成 勇美記念財団

2015 年度（後期）指定公募

「地域包括ケアを目的とした在宅医療推進のためのほか多職種研修会への助成」

完了報告書

「多職種連携在宅支援「食べる」：シミュレーターを用いた口腔ケア・

摂食嚥下リハビリテーション研修会」

申請者： 山本伊佐夫

所属機関：公益社団法人 日本厚生協会

提出年月日：2017 年 4 月 20 日

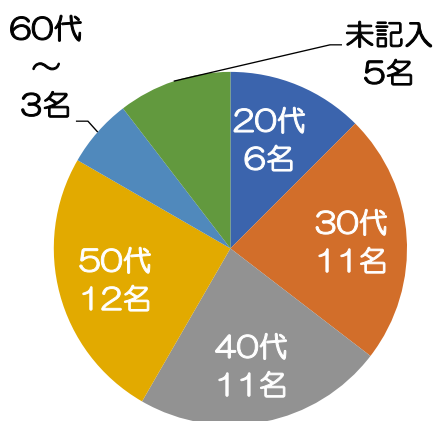
【開催概要】

開催日時：2016年8月11日(木・祝) 9:30~16:45

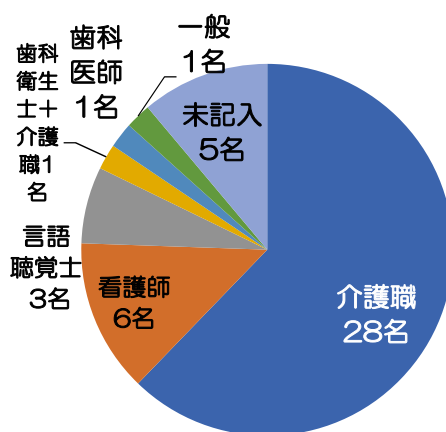
開催場所：神奈川歯科大学

講師：星野 由美 先生 (神奈川歯科大学短期大学部歯科衛生学科 准教授)

飯田 貴俊 先生 (神奈川歯科大学全身管理医歯学講座全身管理高齢者
歯科 講師)



【参加者の年齢層】



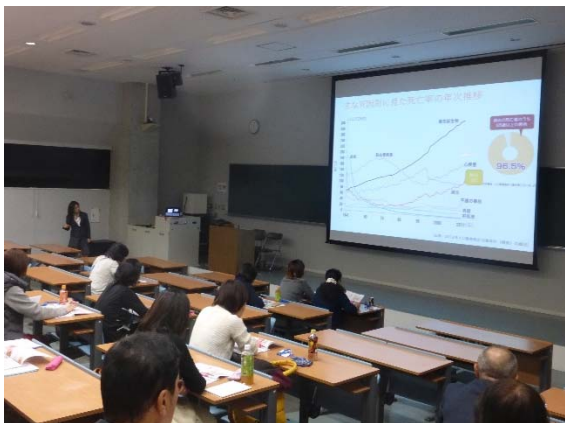
【参加者の職種】

-当日のプログラム-

- 9:30~12:00 講義
- ・口腔ケアの基本とハイリスク患者への対応(星野先生)
 - ・摂食嚥下障害者への対応 (飯田先生)
- 13:00~16:20 実習
- ・ブラッシング実習
 - ・シミュレーターを用いた口腔ケア実習
 - ・嚥下機能評価と訓練、排痰法実技
- 16:20~16:45 まとめ、質疑応答、修了証授与

*午前中は全員講義を聞き、午後は2グループに分かれ実習を行った

【講義・実習風景】



星野先生講義風景



飯田先生講義風景(内視鏡の実演中)



実習1 ブラッシング実習



実習2 口腔ケア実技の説明



実習2 口腔ケア(各班に分かれて実施)



実習2 口腔ケア実習風景



実習3 リハビリ実習の説明



実習3 リハビリ実習(ペアで実施)

【参加者アンケート結果】

—参加の動機—

- * 口腔ケアを正しく覚えたい、実際のケアに役立てたい、新しい情報を得たいと思った、基本をしっかり学びたい、日々の口腔支援の振り返り
- * 口腔ケアやリハビリを行っており、より実践を学びたかったため。
- * 介護者向けだったので、日々のケアに活かせる内容だと思ったため。
- * 職場で誤嚥性肺炎になる人が多く、口腔体操や口腔ケアについて学びたかった、等

—星野先生講義—

- * 口腔ケアの大切さを強く感じた。全身の健康状態の維持の為に取り組んでいかななくてはいけないと思った。
- * 口腔ケアへの意識が低いこと、肺炎予防の必要性の再認識が出来た。また口腔内の観察項目やポイントが分かり実践へ役立てたいと思う。
- * 沢山のデータや映像が記された資料から多側面から口腔ケアの大切さが伝わってきて理解が深まった、等々

—飯田先生講義—

- * 食べにくい方への対応や、嚥下障害について学べた。訓練やテストなど知らなかったことが多くあったので勉強できてよかった。
 - * むせない誤嚥もあることを知った。
 - * 職場でも活用できることがよく分かり、実施してみたいと思う。
 - * 内視鏡での嚥下の実演はかなり感激した、等々
-

—実習1 ブラッシング指導—

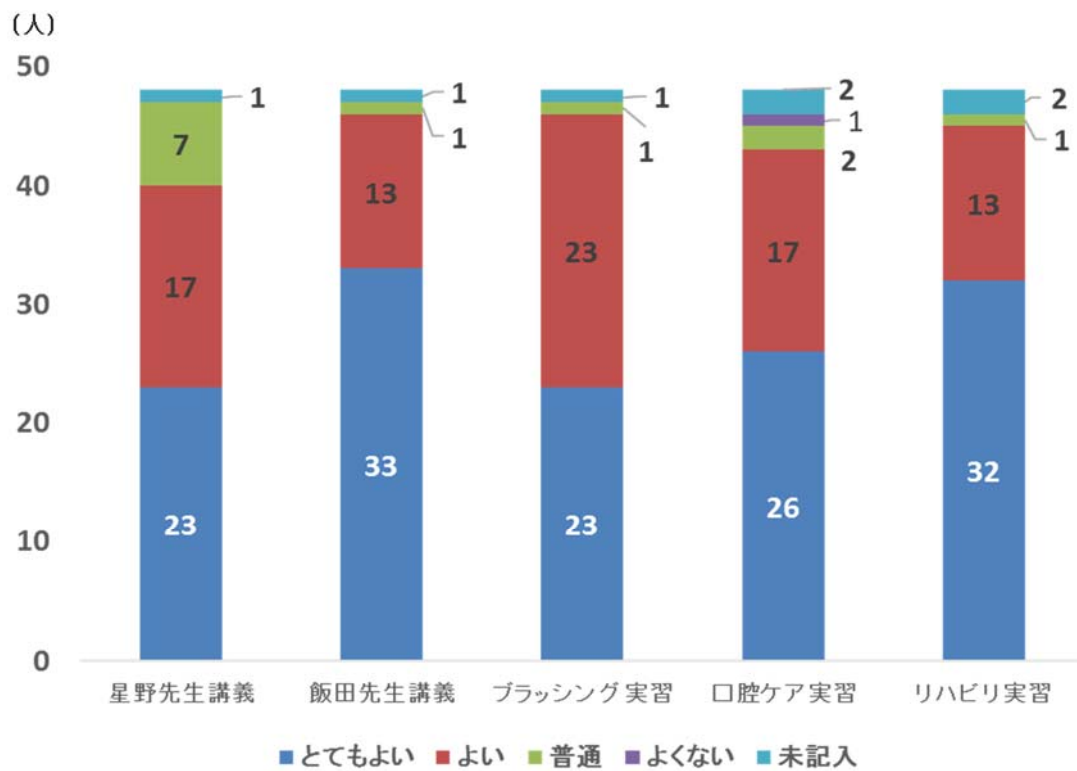
- *改めてブラッシングの仕方を学べ、「出来ていると思っていたことが出来ていなかったこと」に気づけた。
- *スポンジブラシを自分で体験する機会はあまりないので、貴重な体験となった。
- *口が開かない人も、口角の方から入れると入りやすいことが学べて良かった。
- *人にやってもらって力加減がわかった。
- *呼吸に合わせるといふ事は今まで考えていなかったもので、気を付けてみていきたい
- *自ら体験することが出来て良かった、等々

—実習2 口腔ケア—

- *1回だけの実習では難しい。何回も行わなければ患者さん、利用者さんに負担をかけてしまうと思った。
- *実習用の人形はリアルでとても良かった。
- *日頃自分が行っているケアを見直すことが出来た。
- *短時間に本人に適切な状態で口腔ケアをする難しさを感じた。
- *とても難しかったが、ケアを終えた後、喉を覗けたことでタレこみ・流し込みをしてしまっていることを目で見て確認でき勉強になった。
- *もっと時間をかけて実習をしたかった。今まで受けた研修の中で一番実践的だった。
- *物品の使用方法や選び方等学べて良かった。
- *口腔ケアの実習は初めてでしたが改めてポジショニングの重要性や注意点を再確認できた、等々

—リハビリ実習—

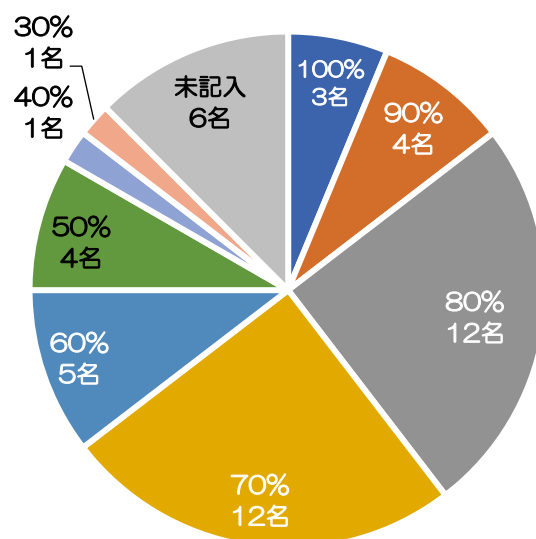
- *日常の口腔ケアと同時に実践できる内容で、非常に分かりやすかった。
- *今後の業務に活用できるリハビリを具体的に体験することができた。
- *施設で取り入れられるか、実践していきたい。
- *パンフレットなどを作成し、広めていきたい。
- *基本的な事を具体的に教えていただき勉強になった。等々
- *口がなかなか開かない利用者さんへの口腔リハビリを行うに当たり、アイシングマッサージで頬をさすったりしていましたが、また違うやり方を学べて良かった。
- *スクリーニング・リハビリを学べたことで利用者様にも役立てたい、等々



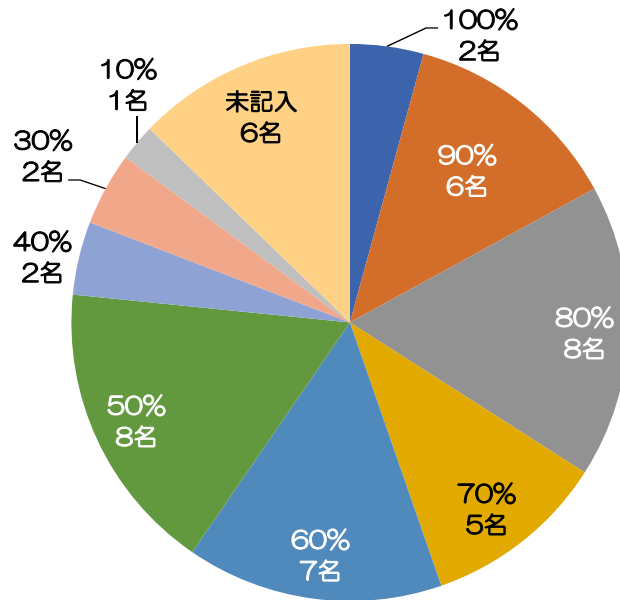
【各講義・実習の満足度】

一習得度について一

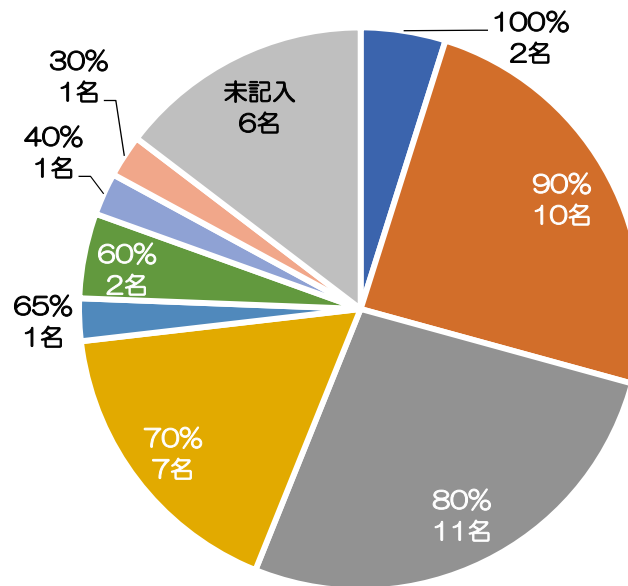
① ブラッシング指導の習得度



② 口腔ケア実習の習得度



③ リハビリ実習の習得度



—全体の感想—

- * 相互実習はスタッフでも行えるので活かしていきたい。マナボットを利用した実習は大変有意義だった。また、リハビリも現場で活かせる内容なので学ぶことが出来て良かった。
- * 口腔ケア・リハビリの必要性を再認識した。同時にデイの利用者様の口腔に対する認識の低さを痛感していて、そのギャップを日々のケアの中で、解消できればと思う。
- * 多面において勉強になり、仕事を通して実践していきたい。
- * 実践面での困難事例の例などの紹介をしてもらいたい。
- * 抜けていたことや見落としとしていたことに気付いて良かった。
- * 講義→実習の過程での研修だったので、よく理解できたし楽しかった。

—今後希望するセミナー

- * 誤嚥を起こさないためのケア方法や食事・飲み物等をどのように摂取したらよいかなどの研修があったらよいと思う。
- * リハビリをもう少し高齢者の状態にあったランクに分けて対応できるようなものを受講してみたい。
- * 吸引を使用しつつの口腔ケアなどもセミナーとして受けてみたい、より深く学びたい。
- * 摂食嚥下障害のある方(重心障がい者、高齢者)で全介助の方々への摂食(食事介助)のテクニック・実技
- * 認知症の方への食事介助について
- * 口腔ケアや嚥下のセミナーは定期的に受講したい。
- * もう少し短い時間(1.5時間くらいでたくさん参加可能)でいろいろな施設で行ってほしい、老健・特老での出張セミナー

—研修会を終えた感想—

過去に歯科関係者を中心に類似のセミナーを行って参りましたが、今回助成補助により介護職、看護師を中心としたセミナーを開催することができました。県内外から申込みが殺到し、20名以上キャンセル待ちとなりました。大変充実した有意義なセミナーが開催できました。現場でお年寄りの摂食や口腔ケアについての問題に直面している方が多くシミュレーターを用いての実践的な実習は特に役立ったようです。

参加者の要望に応え、今後も継続して実施していきたいと考えています。

「公益社団法人 在宅医療助成 勇美記念財団の助成により行われた。」